

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 3

肉と霊

聖書：ローマ7:18, 25. 8:3-9, 12-13

- I. ローマ第7章と第8章には、二つのかぎとなる用語があります。それは、「肉」と「霊」です——7:18. 8:3-9, 12-13:
- A. 命の実際の経験に対する鍵は、わたしたちの肉とわたしたちの霊です——7:25. 8:4-9。
 - B. 消極面で、わたしたちは肉を認識しなければなりません。積極面で、わたしたちは、神聖な霊とミングリングされている、わたしたちの人の霊を経験しなければなりません——8, 16節. I コリント6:17。
- II. わたしたちは肉が何であるか見る必要があります:
- A. クリスマン生活の最大の破壊者は、肉です——I ペテロ2:11。
 - B. 肉は腐敗し、汚染され、変質した体です——ローマ6:6. 7:14:
 - 1. 人の体は本来、純粋なものでしたが、人の墮落を通して、サタンが彼自身を人の中に注入したので、人の体は肉となりました——創3:6. ローマ7:18前半。
 - 2. わたしたちの体は「罪の体」(6:6) また「この死の体」(7:24) です。罪の体は、神に対して罪を犯すことではとても活発で、力に満ちています。この死の体は、神を喜ばせるために活動することにおいては弱く、無力です(18節)。
 - C. 肉は、墮落した古い人の総合計、わたしたちの墮落した存在すべてを指します。人は完全に肉です。なぜなら、墮落した存在は今日、墮落した肉の支配の下にあるからです——創6:3. ローマ7:18前半. ガラテヤ2:16:
 - 1. 肉は、古い人を生かし出すことであり、古い人の表現です——ローマ6:6。
 - 2. 肉は神に敵対し、肉は神の律法に服従せず、肉はそれ自身を神の律法に服従させることができず、肉は決して神を喜ばせることができません——8:7-8。
 - D. サタン自身のように、肉は神の権威に逆らいます——イザヤ14:12-14:
 - 1. 肉は神と彼の御座に反逆します。
 - 2. わたしたちの肉は神の権威の敵であり、神の行政上の統治に反逆します——ローマ8:7:
 - a. わたしたちの肉のあらゆる面は、良くも悪くも、神の権威の敵です。
 - b. 肉によるものは何であれ、神の御座に逆らいます。それは、狡猾な者、神の敵であるサタンによって用いられて、神の目的を妨げます——II コリント2:11。
 - E. 肉は、神の敵の陣営であり、敵の働きの最大の基地です——ガラテヤ5:19-21:
 - 1. 全宇宙における神の唯一の敵は、実際には、サタンではなく肉です——ローマ8:7。
 - 2. 墮落した人である肉は、完全にサタンと一であり、サタンによって用いられて神

と戦います——マタイ16:23. ガラテヤ5:17。

3. 肉はわたしたちの敵の中のリーダーであって、罪、この世、サタンを先導して、わたしたちと戦います——ローマ8:3。

F. 肉は罪、死、サタンの「集会所」また組み合わせです。肉には望みはなく、決して改良されることができません——7:17-18, 21. 参照、ヨハネ17:15。

Ⅲ. 神は彼の知恵と主権の中でわたしたちの肉を用いて、わたしたちを強いてわたしたちの霊に戻させます——ガラテヤ5:17. ローマ8:7:

A. わたしたちは、霊にいるか肉にいるかのどちらかです。わたしたちがいるべき第三の場所はありません。信者はエデンの園の縮図です。彼の霊の中には命の木としての神がおり、彼の肉の中には知識の木としてのサタンがおり、その間に思いがあります——6節。

B. 法理的に言えば、サタンとわたしたちの肉は十字架上で一度で永遠に罪定めされましたが（3節. ヨハネ3:14. ヘブル2:14. IIコリント5:21）、神は肉がわたしたちにとどまって、わたしたちを助け、わたしたちを強いて、霊の中のキリストに戻らせ、わたしたちがもはや肉を頼みとしないようにします（ピリピ3:3）。

C. 肉による助けがないなら、わたしたちは真剣になって主を獲得し、彼がわたしたちの中に造り込まれるようにしないでしょ——ローマ8:6, 13。

D. わたしたちが彼を追い求めるなら、肉の罪深い組み合わせでさえ、主を獲得することでわたしたちの助けになります。わたしたちはしばしば失敗するので、真剣になって霊に戻り、このようにして、さらに多くその霊を獲得します——参照、出23:23, 29-30. 士2:21—3:4。

Ⅳ. わたしたちはキリストにある信者、また神の子供たちとして、一つの事を顧みる必要があります。それは霊にしたがって歩くことです——ローマ8:4:

A. ローマ第8章4節の霊は、神の霊であり、わたしたちの人の霊でもある、ミングリングされた霊です。

B. ミングリングされた霊にしたがって歩く人は、自分の力によってではなく、霊によってすべてのことを行ないます——ピリピ3:3. ゼカリヤ4:6:

1. もし霊にしたがって歩くなら、わたしたちは、神のみこころにしたがって神を喜ばせることを行なうだけではありません。わたしたちはまた、わたしたちの霊と共にいますその霊である神ご自身によって、神がわたしたちに行なってもらいたい事を実行します——ローマ8:4, 16。

2. わたしたちがミングリングされた霊にしたがって歩く時はいつも、キリストがわたしたちの中に生き、また彼がわたしたちの霊の中にいるので、わたしたちは彼を生きます——ピリピ1:19-21前半。

C. ミングリングされた霊にしたがって歩くことは、すべてを含みます。ミングリングされた霊にしたがって歩くとは、ミングリングされた霊の中で生き、行動し、活動し、振る舞い、存在し、すべてのことを行なうことです——ガラテヤ5:16, 25。

D. 究極的に、聖書はただ一つの事をわたしたちに要求しています。それは、わたしたちがミングリングされた霊にしたがって歩くということです——ローマ8:4。

E. 聖書で最もすばらしい事柄は、神の霊がわたしたちの霊とミングリングされるとい

- うこと、わたしたちがそのようなミングリングされた霊にしたがって歩くべきであるということです——I コリント6:17。
- F. ミングリングされた霊にしたがって歩くことは、キリストにわたしたちを満たしていただき、浸透していただくことです。そしてついには彼がわたしたちの全存在を飽和し、わたしたちを通して表現されます——エペソ3:16-19。
- G. ヨハネ第15章4節から5節における相互に住むことは、主と一つ霊であることと、霊にしたがって歩くことを実行することです。
- H. わたしたちは霊にしたがって歩くとき、自然に十字架を負います——マタイ16:24。
- I. わたしたちに起こるすべての事柄は、わたしたちが霊にしたがって歩いているか、肉の中に生きているかをテストします——ローマ8:4-6。
- J. わたしたちはミングリングされた霊にしたがって歩けば歩くほど、ますます自分自身を三一の神の分与の下に保ちます——6, 10-11節。
- K. 霊にしたがって歩くことは、手順を経た三一の神に、わたしたちの中ですべての立場を得させることです。それは、わたしたちが彼で占有され、彼で満たされ浸透されるためであり、またそれは、わたしたちが完全に彼と一となって、彼の全き表現となるためです——エペソ3:16-19。
- L. もしミングリングされた霊にしたがって歩くなら、わたしたちは完全に神の子たちとなり、そのような子たちとして、わたしたちは、キリストのからだの肢体となって、神の王国である召会生活の中に生きます——14節. 12:4-5. 14:17。